

## 報 雜

### ◎人 事

學校衛生技師 栗 山 秀 征  
願 = 依り本職ヲ免ス

岡山醫科大學助教授 上 村 忠 雄  
本俸十一級俸下賜

岡山醫科大學教授 緒 方 益 雄  
賜本俸二級俸

(昭和十四年  
十二月二十八日)

岡山醫科大學教授 遠 藤 中 節  
賜本俸二級俸

(一月十二日)

陸軍軍醫少尉正八位 繁 定 光 治  
任陸軍軍醫中尉

(昭和十四年  
十一月二十八日)

正五位 北 山 加 一 郎  
敘勳四等授瑞寶章

(一月十五日)

○難 波 政 士君 は今般本縣邑久郡長島愛生園を  
辭し滿洲國鐵嶺國立癩療養所同康院長に就任せら  
れたり

○寺 内 廣 英君 は今般兵庫縣加古川町縣立懷仁  
病院を辭し岡山醫科大學産科婦人科教室に於て研  
究に従事せられたり

○高 橋 篤 郎君 は今般栃木縣堀米町佐野病院を  
辭し岡山醫科大學北山内科教室に於て研究に従事  
せられたり

○陳 景 彬君 豫て岡山醫科大學解剖學教室に  
於て研究中の處今般盛岡市盛岡病院耳鼻科に勤務  
せられたり

○伊 賀 忠 男君 は先般岡山醫科大學稻田内科を  
辭し兵庫縣相生町播磨造船所病院に勤務せられた  
り

○前 田 和 之君 は豫て神戸市立市民病院に勤務  
し居られしが今般同市立屯田療養所に轉勤せられ  
たり

○淺黄由喜雄君 は豫て岩手縣黑澤尻町和田病院  
に勤務し居られしが今般盛岡市日本赤十字社支部  
病院に轉勤せられたり

谷高三郎君逝く 明治 31 年第三高等中學  
校醫學部を卒業し後神戸市に於て開業し大  
に其手腕を振ひ令名ありしが近年健康を害  
し靜養に力められしも本月 4 日遂に永眠せ  
られたりと寔に痛惜に堪へず謹みて茲に弔  
意を表す

水田實君逝く 君は大正元年岡山醫學専門  
學校を卒業し岡山縣病院内科に於て研究し本  
縣兒島郡下津井町に於て開業し居られしが  
昨年 11 月 22 日病を以て遠逝せられたりと  
寔に哀悼に堪へず謹みて茲に弔意を表す

白玖壽雄君逝く 君は大正元年岡山醫學專  
門學校を卒業し陸軍に出仕し退役後岡山醫  
科大學に於て研究し學位を受領し香川縣觀  
音寺町に於て開業中日支事變の爲め應召し  
て活躍中病を得て歸鄉靜養中なりしが醫藥  
其效を奏せず先般遂に永眠せられたりと寔  
に痛惜に堪へず謹みて茲に弔意を表す